

令和4年度地域リハビリテーション推進強化事業
こども支援アセスメント勉強会 実施要領

1 目的

障害児の特性を踏まえた支援をするためには、アセスメントで得られた複数の情報の関係を整理し、筋道立てて児の支援を組み立てる支援スキルが必要である。

そこで、管内の障害児の支援を担っている市町村担当者及び事業所等職員を対象に、昨年度は子ども気になる行動、困った行動を整理・分析する「応用行動分析」と、その分析に基づき具体的な支援を組み立てる方法について勉強会を開催した。

今年度は、より質の高い支援につなげるため、引き続き「応用行動分析」に基づく支援方策の実践及び評価について学ぶ機会とする。

2 実施主体 宮城県仙台保健福祉事務所

3 対象

管内の市町村母子保健担当並びに障害福祉担当職員

児童発達支援事業所、放課後等デイサービス事業所、相談支援事業所等の職員

(1) 令和3年度の本勉強会受講者(1回目のみ含)

(2) (1)以外の方で希望される方

*こども支援アセスメント通信 Vol. 9, 10などで事前に前回内容の確認をお願いします。

4 日程

令和5年2月15日(水曜日) [午前の部] 午前10時から正午まで

[午後の部] 午後3時から午後5時まで

午前と午後の講話はほぼ同じ内容ですが、演習のモデルケースが、午前は学童以上児、午後は未就学児となる予定です。

5 内容

講話・演習 (Webexを利用したライブ配信。Microsoft Edgeで受講できます)

「行動分析シートを使って具体的支援を考えよう」

～応用行動分析シートの活用③「行動分析を元にした支援の実践と評価」～

講師 本郷 佳江氏 (NPO ハッピーピース代表, Y's communications 代表)

講師プロフィール

未就学児童の療育指導員を経て、2009年4月Y's communicationsを設立。震災後、地域の保健センターにて、震災後のケアカウンセリングを行いながら、全国でトラウマ・PTSDに対応する心理療法の養成講座や、発達研修を開催。心理療法を含め、カウンセリング実績は1千件以上。

2014年11月、発達障害の子どもたち、家族、支援者を支える団体「ハッピーピース」設立。保護者勉強会、支援者研修会、茶話会等の支援活動を行う。また、各市町村の保育所・幼稚園の訪問、学童保育等の巡回訪問、教育関係向けの子育て講座、ペアレントプログラムコミュニケーション等、各種講座を開催している。